

よこすか



E C O通信

第3号(平成23年12月)

発行: 横須賀市

環境教育・環境学習ネットワーク会議

冬の夜空

一年中でもっとも星がよく見えると言われる冬。

その理由は、日本の上空をジェット気流が通過するので空気が澄んでいることや、一等星が多いことがあります。

また、夏と違って日の入りが早く、冬は夜空を見あげる機会が多いので星を見た記憶が一番残っているのが冬なのかもしれません。

今年の冬は、星をみながら、少しだけ宇宙と環境について考えてみませんか？

宇宙の未来と環境

古川聡さんが地球に帰還したのは記憶に新しいところです。

古川さんは167日、5カ月以上も宇宙に滞在していました。

そもそも、人類が最初に宇宙飛行したのは1961年のことです。それからわずか50年で宇宙ステーションも建設され、一般の人が宇宙に観光旅行に行くのも、そう遠い未来ではなくなっています。

もちろん、人類が飛び出した宇宙は、地球から月までのわずかな空間で宇宙全体でみればまだ本当に小さな一歩です。

でも、そんなわずかな空間に人間が飛び出したことによって、宇宙に環境問題が起きていることはご存知でしょうか？

それは、スペースデブリと呼ばれている宇宙のごみ問題です。

「スペースデブリ」は、耐用年数を過ぎたり、故障などで制御不能となった人工衛星や、多段ロケットの切り離しなどによって生じた破片、なかには宇宙飛行士が落とした手袋や工具などもあります。

これらのごみがロケットに傷をつけることはもちろん、今後増え続けると、地球のまわりはごみだらけになって、宇宙に出られなくなるかも！

捨てたくて捨てていないものではないけれど、私たち人間の活動によって生まれた環境問題には変わりありません。

夜空を見上げて、きらりと光ったら、それは宇宙のごみかも知れません。



裏面には季節の生き物図鑑「トウキョウサンショウウオ」の掲載があります。

冬の環境学習講座などのお知らせ

横須賀市自然・人文博物館

特別展示「三浦半島の干潟」

会 期 1月28日(土)～3月25日(日)

場 所 横須賀市自然・人文博物館(本館)

3階特別展示室

干潟はたくさんの生き物が利用するだけではなく、環境を浄化する力や都市温暖化を緩和する力を持った貴重な自然です。

今回の特別展示では、小田和湾や江奈湾、小網代湾、平湯湾など、三浦半島に残され、県内では数少ない干潟で見られるカニ類や貝類、鳥類などの生き物の種類やようすを紹介するだけではなく、本州、四国、九州、琉球列島などの全国の代表的な干潟と、それぞれの干潟に特徴的な生き物であるシオマネキやムツゴロウ、カブトガニなど、約20年にわたる調査活動によって収集した写真や標本を展示します。

また、会場内のミニシアターでは、干潟の生き物たちのユニークなくらしぶりを記録した貴重な動画を、ビデオ上映によってご覧いただけます。

特別展示解説

日 時 1月29日(日) 14:00～15:00

場 所 本館特別展示室

問合先

〒238-0016 横須賀市深田台95

横須賀市自然・人文博物館 TEL824-3688

かながわ環境家計簿「エコボ」

神奈川県の環境農政部環境計画課がHPで実施している「かながわ環境家計簿 エコボ」は、ご家庭での二酸化炭素排出量が簡単に分かるサイトです。

毎月の電気やガスなどの使用量を入力すると、二酸化炭素の排出量が自動的に計算されます。また、排出量が少ない順に参加者のランキングも表示されます。

ホームページ

<https://www.ecobo-kanagawa.jp/index2.html>

家庭の「うちエコ診断」

先着100世帯 無料診断受付

神奈川県地球温暖化防止活動推進センターでは、家庭部門のCO₂排出量を削減するため、昨年度に引き続き神奈川県内のご家庭に対し「うちエコ診断」を実施しています。「うちエコ診断」では、専用ソフトを用いてみなさんの家庭におけるCO₂を見える化し、さらに各ご家庭のライフスタイルに応じた「節電」「節エネ」「節CO₂」を提案します。

応募方法

FaxかMailで、〒・住所・氏名(ふりがな)とEメールアドレスを明記して12月28日までに下記宛へ。また、ホームページ(<http://www.kccca.jp/uchieco/uchieco.html>)

より申し込み用紙をダウンロードできます。

応募・問合先

神奈川県地球温暖化防止活動推進センター

うちエコ診断事務局 TEL & FAX 045-321-7454

Mail uchieco@kccca.jp



スターウォッチング・ネットワーク

-全国星空継続観察 - 環境省



環境省では、全国のみなさんに、肉眼、双眼鏡や、カメラを使った身近な方法で、星の見え方を調べてもらう全国星空継続観察を夏と秋に行っています。

調べてもらった結果から、大きな町では、空気のごれや、街路灯やお店の明かりで夜空全体が明るくなって、星が見えにくくなっていることがわかります。

星がよく見えるようにするにはどうしたらよいかを考える機会にもなります。

観察期間 1月14日(土)～1月27日(金)

観察方法

1. 肉眼により、高度のことなる天の川の3部分(ペルセウス座付近、ふたご座付近、いっかくじゅう座付近)を観察する。
2. 双眼鏡を用い、すばる(プレアデス星団)を観察する。

参加方法

1. 参加登録 (1月4日(火)より登録開始予定) 環境省ホームページより、「全国星空継続観察ページ」<http://www.env.go.jp/kids/star.html>で、調査に参加しようのページから参加登録します。
2. 観察の実施 1月14日(土)～1月27日(金)の期間内に、「全国星空 継続観察実施の手引き」に従って「観察ノート」に記入します。
3. 報告 参加団体毎に、「観察ノート」を「総括表」にとりまとめ、ウェブページでオンライン報告をします。

JAXA 宇宙航空研究開発機構 (相模原キャンパス)

相模原キャンパスでは、宇宙に関するさまざまな謎を研究しています。各地で活動している宇宙科学の研究者たちの頭脳が結集できるような役割を担い、今後も全国の研究者たちの知恵が活かされていくことが期待されています。

また、キャンパス内にはロケットなどの模型を展示しており、見学することもできます。

見学の問合先

神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1

相模原キャンパス広報・普及係

TEL 042-759-8008

http://www.jaxa.jp/about/centers/sagamihar/a/index_j.html

よこすか環境フォーラム

～みんなで考えよう 横須賀の環境のこと～

日 時 平成24年(2012年)1月21日(土) **入場自由・無料**
場 所 ヨコスカ・ベイサイド・ポケット [横須賀芸術劇場]

環境活動・環境学習のステージ発表を中心とした、環境啓発イベントです。
昨年度までは、「こども環境フォーラム」として行ってましたが、今年度より市民のみなさまを対象としてのイベントとして開催します。

下記プログラムの他に市民活動団体等の環境活動のパネル展示や、クイズラリーを実施します。

プログラム		フロアショー 選んで作ろう！動物クラフト
11:00	オープニング	
11:05	表彰式 横須賀ECO大賞 環境ポスターコンクール	
11:40	(休 憩)	
13:00	環境保全活動の発表 小学校(明浜・城北・津久井・野比) すかっ子セミナー・自然系Aコース	
14:20	講演(C. W. ニコル)	
15:45	クロージング (16:00終了予定)	

※現時点の予定ですので、今後変更する場合があります。

問合せ 横須賀市環境政策部環境企画課
TEL 822-8327 E-Mail ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

よこすか環境フォーラム Pick Up!

『森からみる未来』

講 師 C.W.ニコル

かつては荒れ果てた里山だった『アフアの森』を生態系豊かな森に再生した作家のC.W.ニコルが横須賀にやってきます！



フロアショー ～選んで作ろう！動物クラフト～



目、耳、足、おなか・・・
里山で集めた小枝から生まれたいろんな部品を組み合わせ、好きな動物を作ろう！
里山のお話も聞けるよ。
◆申込不要(当日受け)
◆小学校低学年向け

日時・場所等につきましては、上段をご覧ください。

環境ポスターコンクール展示会のお知らせ！

市内の小・中学生が描く「環境」を集めたポスターコンクール、今年度は754点の応募がありました！
たくさんの作品の中から、最優秀賞(市長賞)、節電特別賞、各協賛企業賞の21作品が決まりました。
この入選作品の作品展を行います。将来を担う子どもたちが描いた環境をぜひご覧ください。

- ① 日時 1月21日(土) 11時～16時30分
場所 ヨコスカ・ベイサイド・ポケット 3階ホール
(よこすか環境フォーラム内)
- ② 日時 2月20日(月)～24日(金)
8時30分～17時
場所 横須賀市役所 1階 展示コーナー

このコンクールは市内19企業の協賛を得て行っています。
=H23年度協賛企業(五十音順)=
イオンリテール(株)イオンクミヤ、ウスイホーム(株)、(株)AFT、(株)クリーンパトロール、京浜急行電鉄(株)、(株)サガミ、(株)湘南衣笠ゴルフ、湘南菱油(株)、(財)電力中央研究所横須賀運営センター、東京ガス(株)横浜支店、東京電力(株)藤沢支社、東芝ライテック(株)、(株)トライアングル、日産自動車(株)追浜工場、(株)マシンヘッド、横須賀グリーンゴルフ、(株)横須賀建具アルミセンター、横須賀みかさライオンズクラブ、横須賀モアーズシティ

問合せ 横須賀市環境政策部環境企画課
電話822-8327



季節の生き物を詳しく見ていくコーナーです。
今回は「トウキョウサンショウウオ」です。

サンショウウオというと、体長1mを超えるオオサンショウウオを思い浮かべる方が多いかもしれませんが、トウキョウサンショウウオは体長12cmほどの小型の両生類（カエルやイモリなどのなかま）です。神奈川県内にはハコネサンショウウオ、ヒダサンショウウオ、トウキョウサンショウウオの3種類のサンショウウオが分布していて、トウキョウサンショウウオは丹沢や箱根などの標高の高い山地でくらす他の2種とは異なり、県内では横須賀市と葉山町の一部にしか生息していない里山のサンショウウオです。

また、2006年版の環境省のレッドデータリストで絶滅危惧Ⅱ類に評価されている希少な生き物です。

トウキョウサンショウウオは、冬の寒さがもっともきびしくなる1月下旬から3月に里山から下りてきて、山沿いの水たまりで産卵をします。夜間、メスは卵が入った袋（卵のう）を2個1組で水中の木の枝や水草に産みつけ、オスはすぐに精子をかけて受精させます。1個の卵のうの中には50～120粒の卵が入っていて、受精した卵はまわりの寒天質が水を吸ってふくらみ、卵のうはバナナのような形になります。

受精した卵は、水温によって差が生じますが、ふつう3～4週間でふ化します。生まれたばかりの幼生には足はなく、くびのあたりには「えら」が、眼の下からはバランスをとるための棒状の突起（平衡器）が生えています。幼生はやがて前足、後足の順に足が生え、普通は秋までに親とほぼ同じ姿になる「変態」をします。変態を終えた子どものトウキョウサンショウウオは里山に入って陸上の生活に移行し、約4年後の冬に親となって産卵に訪れる日まで、生まれた水たまりに姿をあらわすことはありません。



卵のう



うまれたばかりの幼生



前後に足が生えた幼生



成体

（横須賀市自然・人文博物館 萩原学芸員）

みなさまからのECOな情報も募集してます。

発行：横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議
（発行元）〒238-8550 横須賀市小川町11番地
TEL 046-822-8327 FAX 046-821-1523

E-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

よこすかの環境教育・環境学習のホームページ

協力：横須賀市自然・人文博物館
横須賀市環境政策部環境企画課

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/k-gakusyu/index.html>

この情報誌は、横須賀市環境教育・環境学習ネットワーク会議のトライアル事業の一環として発行しております。
「環境教育・環境学習ネットワーク会議」とは、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。